

2025年2月期 第1四半期決算発表補足資料

イオンディライト株式会社

2024年7月9日

1 2024年度 第1四半期決算報告

2 通期計画数値達成に向けた第2四半期以降の取り組み

連結損益計算書

顧客内シェア拡大や新規顧客開拓に加え、単価見直しの推進により増収。
一方、更なる人件費の上昇を主因に収益性が低下した警備事業や清掃事業の影響等により
売上総利益の伸びで販売管理費の上昇を吸収できず営業利益、経常利益は減益

	2023年度		2024年度		増減額	増減率
	第1四半期	(構成比)	第1四半期	(構成比)		
売上高	791	(100.0%)	811	(100.0%)	20	102.5%
売上総利益	102	(12.9%)	104	(12.8%)	1	101.7%
販売管理費	67	(8.6%)	71	(8.8%)	3	105.3%
営業利益	34	(4.4%)	32	(4.0%)	▲1	94.8%
経常利益	34	(4.4%)	33	(4.1%)	▲1	96.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	22	(2.9%)	25	(3.2%)	2	112.9%

セグメント売上高 ①

4事業で増収、3事業で減収。施設管理業（設備管理、警備、清掃）において人件費の高騰が課題となる中、前期より単価見直しに注力したことが各セグメントの増収に寄与

	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	増減率 (億円)
設備管理	170	182	106.5%
警備	127	129	101.5%
清掃	174	180	103.4%
建設施工	133	130	97.6%
資材関連	113	119	106.0%
自動販売機	23	22	95.8%
サポート	48	46	96.7%
合計	791	811	102.5%

セグメント売上高 ②

設備管理事業

単価見直しに加え、新規継続契約や各種整備業務の受注拡大により増収

警備事業

単価見直しや施設警備の新規受託等により増収

清掃事業

単価見直しに加え、新規継続契約や2023年4月に完全子会社化したアスクメンテナンスの寄与等により増収

建設施工事業

令和6年能登半島地震に伴う復旧関連工事の受託や省エネ関連工事の受託に注力するも改装工事の減少や一部工事の遅延が影響し減収

資材関連事業

各種資材の受注拡大により増収

自動販売機事業

施設の閉鎖や不採算機撤去に伴う台数減が影響し減収

サポート事業

受託業務の縮小により減収

セグメント利益 ①

5事業で増益、2事業で減益。

施設管理業では、設備管理が人件費の伸びを大きく上回る売上高の拡大により増益。

一方、警備、清掃は増収も人件費の伸びを吸収するには至らず減益。

	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	増減率	(億円)
設備管理	13.3	14.6	109.6%	
警備	8.3	7.5	90.8%	
清掃	14.5	13.6	93.9%	
建設施工	10.8	10.9	100.6%	
資材関連	6.3	6.6	104.7%	
自動販売機	2.5	2.6	104.3%	
サポート	1.4	3.0	204.8%	
合計	57.4	59.1	102.9%	

セグメント利益（定性情報）

設備管理事業

業務プロセスのデジタル化を通じたローコストオペレーションにより収益性の改善を図りながら、売上高を拡大したことにより増益

警備事業

人件費の上昇を主因に収益性が低下し減益

清掃事業

人件費の上昇を主因に収益性が低下し減益

建設施工事業

工事の仕様や工程の最適化を通じ収益性を向上し減収増益

資材関連事業

原材料や物流費が上昇傾向にある中、各種資材の原価上昇分の売価への適正な反映に取り組み、増益

自動販売機事業

不採算機の撤去をはじめとした収益構造の適正化により収益性が改善し減収増益

サポート事業

旧カジタクより事業を継承したコピー機の契約期間満了等により大幅に増益

連結貸借対照表

(億円)

資産の部	2024/2	2024/5	増減額	負債・純資産の部	2024/2	2024/5	増減額
流動資産	1,399	1,382	▲17	流動負債	534	509	▲25
有形固定資産	64	64	0	固定負債	25	31	5
無形固定資産	60	60	▲0	負債合計	560	540	▲19
投資等	76	83	6	株主資本	999	1,000	1
固定資産	202	208	5	純資産合計	1,042	1,049	7
資産合計	1,602	1,590	▲11	負債・純資産合計	1,602	1,590	▲11

アジアでの事業拡大

海外事業は売上高 前年同期比112.1%, 営業利益 前年同期比104.2%の増収増益

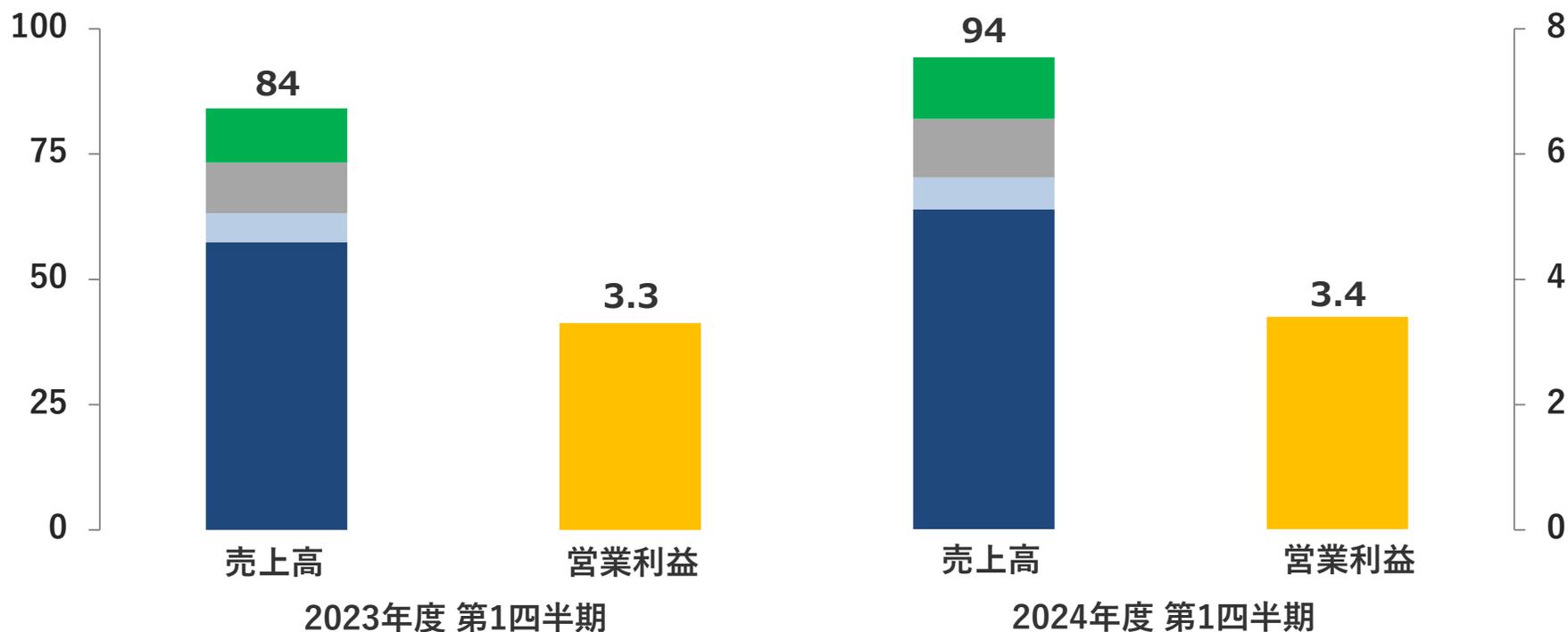
中国 : 顧客内シェア拡大や新規顧客開拓により堅調に事業を拡大し増収。
一方、業容拡大に伴う一時的な販売管理費の上昇により減益

アセアン : アセアン事業で増収増益。事業を展開する各国で増収。
マレーシア、ベトナムで収益性を改善し増益

(売上高/億円)

(営業利益/億円)

■ 中国 ■ マレーシア ■ ベトナム ■ インドネシア ■ 営業利益



1 2024年度 第1四半期決算報告

2 通期計画数値達成に向けた第2四半期以降の取り組み

通期計画数値達成に向けた第2四半期以降の取り組み

原価上昇圧力が継続する中、引き続き、収益性の改善策に取り組みつつ、
営業強化によりマーケットシェアのさらなる拡大を図る

項目	主な取り組み
売上高の拡大	<ul style="list-style-type: none">✓ 受託済み大型プロジェクトの遂行と周辺業務の受託拡大✓ アカウントマネジメントを通じた顧客内シェア拡大✓ 第1四半期 遅延工事の着実な取り込み✓ 省エネ関連工事の受託拡大✓ 特定技能外国人を活用したリゾート戦略（ベッドメイキング）
収益性の改善	<ul style="list-style-type: none">✓ アカウントマネジメント企業との価格交渉強化✓ DXにより顧客のFMコスト削減を通じた契約単価の見直し✓ 建設施工：工事における見積査定・交渉の強化✓ エリア戦略を通じた国内グループ会社の経営効率化

イオンディライト価格交渉方針に基づき、 お取引先さまとの取引価格適正化に向けた取り組みを強化

イオンディライト価格交渉方針

- イオンディライトは、**不合理な原価低減要請**を行いません。
- イオンディライトは、原価上昇の影響をふまえ合理的な算定方式に基づき、**十分に協議を行います**。
- イオンディライトは、お客さまが価格の見直しを認めないことを理由として、**協議を拒みません**。
- イオンディライトは、サプライチェーン全体の合理的なコスト確保を意識しつつ、さらに**創意工夫してお客さまに喜ばれる提案を行います**。
- イオンディライトは、価格決定を含め契約に当たっては、契約条件の**書面等による明示・交付を行います**。

組織としての対応を強化

「価格交渉方針」を全社に浸透させ実践。
取引毎の価格交渉における責任者と対応体制
を明確化し組織としての対応を強化

「価格交渉月間」の取り組み内容強化

6月1日～8月31日を「価格交渉月間*」とし
各お取引先さまとは、契約更改時期にあわせ
人件費等の変動を鑑みた協議を実施

* 最低年1回、価格交渉の場をもつ期間

2024年度の業績予想

(億円)	2023年度実績 (構成比)		2024年度予想 (構成比)		増減率
売上高	3,248	(100.0%)	3,400	(100.0%)	104.7%
営業利益	152	(4.7%)	160	(4.7%)	105.3%
経常利益	154	(4.8%)	160	(4.7%)	103.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	107	(3.3%)	104	(3.1%)	97.2%

ご意見・ご質問につきましては、下記にお願いいたします。

■ この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定に基づく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

■ 資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

- ◇ 全て連結を対象として記載
- ◇ 記載金額は億円未満を切り捨て
※p. 6, 9 のみ千万円未満を切り捨て
- ◇ 比率は小数点第2位を四捨五入

イオンディライト株式会社
(証券コード：9787)

IR担当部署：広報・IRグループ

TEL 03-6895-3892

または、ホームページよりお問い合わせください。

<https://www.aeondelight.co.jp>

本資料の内容につきましては公表日（2024年7月9日）までに入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。